

1) わが国の慢性透析療法の要約

日本透析医学会は、1968年から毎年毎に、全国の透析療法施設を対象に統計調査を行っている。調査票は、施設調査票（透析ベッド数、スタッフ数、患者数などの施設背景に関する調査）と、患者調査票（個々の患者に関する調査）からなっている。

2013年末の統計調査は全国の4,325施設を対象に実施され、4,264施設から回答が寄せられた。2012年末から26施設の増加である。施設調査票の回収率は98.6%、患者調査票の回収率は96.3%であり、例年通りの回収率であった。調査に協力賜った各施設のご好意ならびに地域協力委員の諸兄に対し、紙面をお借りして深甚なる感謝の意を呈したい。

これらの調査結果を集計した2013年末のわが国の慢性透析療法の現況を速報版として報告する。なお、この図説（速報）に掲載された患者数などは速報値である。年末までに追加・修正されたデータを基に作成された確定値はCD-ROM版として配布される。透析患者数の推移など経年的な変化として図説に記される昨年の値は、2012年のCD-ROM版（確定値）との比較であり、2013年と2012年の比較についての確定比較は2013年版CD-ROM版とで行っていただきたい。

(1) わが国の慢性透析療法の要約 (図表1)

施設数		4,264施設	(26施設増)	0.6%増
設備	ベッドサイドコンソール	128,016台	(3,013台増)	2.4%増
能力	同時透析	126,145人	(2,870人増)	2.3%増
	最大収容能力	421,755人	(7,460人増)	1.8%増

慢性透析患者	314,180人	(4,173人増)
--------	----------	-----------

※慢性透析患者の総数は、施設調査票 患者総数欄の合計であり、治療方法別患者数の合計とは必ずしも一致しない。

人口100万対比	2,468.1人	(36.9人増)
----------	----------	----------

昼間	263,109人	(83.7%)
夜間	41,365人	(13.2%)
在宅血液	461人	(0.1%)
腹膜透析	9,245人	(2.9%)

HD、HDF等とPDを併用している患者数	1,900人
HD、HDF等施行患者で、腹膜カテーテルを残し洗浄などを行っている患者数	293人
腹膜透析で新規導入したが、2013年中にHD、HDF等へ移行した脱落患者数	161人

導入患者数	38,024人	(31人減)	0.1%減
死亡患者数	30,708人	(2人減)	0.0%減

上記は施設調査による集計

	男性	女性	不詳	計
5年未満透析患者数	96,916	47,743	1	144,660 (47.3%)
5年以上10年未満透析患者数	48,928	27,905	0	76,833 (25.1%)
10年以上15年未満透析患者数	23,609	15,755	0	39,364 (12.9%)
15年以上20年未満透析患者数	11,859	8,918	0	20,777 (6.8%)
20年以上25年未満透析患者数	6,145	5,237	0	11,382 (3.7%)
25年以上30年未満透析患者数	3,479	3,107	0	6,586 (2.2%)
30年以上35年未満透析患者数	2,100	1,806	0	3,906 (1.3%)
35年以上透析患者数	1,209	1,032	0	2,241 (0.7%)
不詳(不明・記載なし)	89	37	1	127 (0.0%)

※透析歴別患者数は患者調査票より算出

患者調査による集計

最長透析歴	45年7ヵ月
-------	--------

患者調査による集計

解説

今回の調査で回答された施設は4,264施設となり、前年度と比べ26施設(0.6%)増加した。ベッドサイドコンソールは128,016台であり3,013台の増加、同時透析可能人数は126,145人、最大収容能力は421,755人であり、それぞれ2012年末と比較して、2.4%、2.3%、1.8%の増加であった。

一方、透析スケジュール別みると、昼間透析の割合は83.7%で0.4%の増加、夜間透析は13.2%で0.3%減少した。在宅血液透析患者は461人であり、68人増加した。一方、腹膜透析(PD)患者数は9,245人で、269人減少し、全透析患者数に占める割合も2.9%と0.2%減少した。主な治療法のいかに関わらず、施設調査票でPDと血液透析(HD)、血液透析濾過(HDF)とを併用していると回答された患者は1,900人で32人減少した。現在はHD、HDF等施行中で、以前PDを行っていたため腹膜カテーテルを残して洗浄のみ実施している患者は293人で54人減少した。2013年にPDで新規導入されたが2013年中にHD、HDF等に移行し、PDから脱落した患者は161人であり、2012年と比較して、14人減少した。

20年以上の透析患者数は24,115人で前年度と比べ793人増加し、全透析患者の中の割合で7.9%と漸増している。35年以上の透析歴を持つ患者は2,241人で全患者の0.7%を占めていた。最長透析歴は45年7ヶ月であった。